

## 福祉系大学におけるキャリア形成支援のあり方について

### －専門教育、キャリア教育、教養教育の体系の再検討－

○ 関西福祉大学 藤原 慶二 (会員番号: 6433)

関西福祉大学 菅 由希子 (会員番号: 6221)

キーワード: キャリア形成支援、キャリア教育、関連図

#### 1. 研究目的

本報告は福祉系大学におけるキャリア形成支援のあり方として、専門教育、キャリア教育、教養教育の関係と位置づけを再検討する。そして、各教育の体系図(モデル)の提示を目的とする。なお、本報告で用いる福祉系大学とは社会福祉士養成校のことである。

2010(平成22)年、大学設置基準が改正され、すべての大学でキャリア教育が義務化された(大学設置基準第42条の2)。これにより福祉系大学では①資格課程の専門教育、②キャリア教育、③一般教養の教養教育の3つの教育で構成されることになった。これにより今日の大学を取り巻く状況は大きな転換点を迎えている。

特に福祉系大学では専門教育として資格取得課程があり、それに傾斜しかねない状況にある(例えば大学案内に「社会福祉士合格率〇〇%」という表記)。実際に、このような状況を「大学の専門学校化」と揶揄されることもある。学生ニーズとして資格取得が重要であることは理解できる。しかし、大学本来の役割・機能を軽視して良いわけではない。そもそも大学は「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする(学校教育法第83条)」と定義されている。つまり、これを前提として専門教育が位置づけられなければならない。

福祉系大学は大学である以上、まずは①広く知識を授けなければならない。その上で、資格課程が主となる②深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることとなる。そこで、3つの教育(専門、キャリア、教養)の融合が求められる。

#### 2. 研究の視点および方法

本報告では福祉系大学におけるキャリア形成支援として、大学が有する教育を①専門教育、②教養教育、③キャリア教育の3つとし、それらの体系に視点を置く。また、福祉系大学での実際の取り組みとしてA大学をモデルとして専門教育、キャリア教育、教養教育の関係性を以下の点から明らかにする。

第1に福祉系大学の特徴について述べる。特に福祉系大学は社会福祉士資格取得課程が位置づけられている。この中には実習があり、また多くの福祉系大学でボランティア活動をはじめとする社会的活動に積極的に取り組んでいる。この社会との接点が多い特徴とキャリア教育がどのように位置づけられるかについて述べる。

第2に体系図を示すモデルとしてA大学での実際の体系を整理する。これは昨年度の日本社会福祉学会口頭発表<sup>1</sup>で既に一定の整理をしている。本報告ではこれを基に体系図(モデル)に至る背景について述べる。

第3に専門教育、キャリア教育、教養教育の関係について再検討し、体系図（モデル）を提示する。

### 3. 倫理的配慮

本報告は日本社会福祉学会研究倫理指針を遵守している。

### 4. 研究結果

福祉系大学におけるキャリア形成支援の展開に体系だったものは少ない。そこで、本報告では福祉系大学におけるキャリア形成支援の体系を下図のように整理した。専門教育、キャリア教育、教養教育を4年間の課程の中で効果的かつ効率的に配置する。そうすることで学生へのキャリア形成支援も円滑に進めることができる。もちろん、この図が全ての福祉系大学に当てはまるわけではない。

専門教育、教養教育、キャリア教育の関係および位置づけを整理し、その体系図を示すことで大学として取り組む方向性を示すことができる。キャリア形成支援は教員や就職担当課がそれぞれに取り組むものではない。それぞれが互いに緊密な連携をもち、専門性を活かしたキャリア形成支援が求められる。大学が積極的な姿勢でキャリア形成支援に取り組み、学生がより主体的に自身のキャリア形成を考えられるようにするためには、下図のような体系が求められる。

### 5. 考察

考察の結果、下図のような位置づけを明らかにすることができた。詳細は当日の発表およびレジュメで報告する。

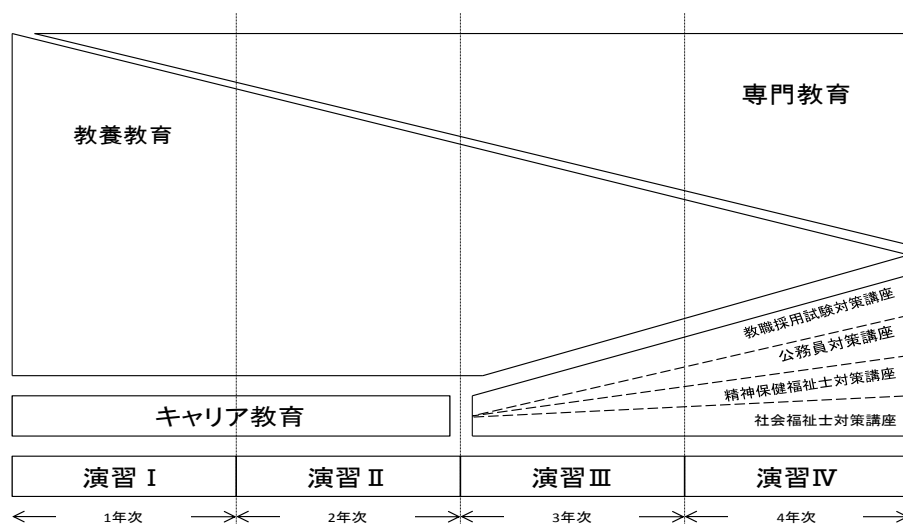


図 1 福祉系大学におけるキャリア形成支援の体系図（モデル）

### ■参考文献

中央教育審議会大学分科会質保証システム部会(2009)「大学における社会的・職業的自立に関する指導等（キャリアガイダンス）の実施について（審議会経過概要）」

i 藤原慶二、菅由希子(2011)「福祉系大学とキャリア形成に関する一考察—A 大学の実践から—」日本社会福祉学会第 59 回全国大会（淑徳大学）